

はじめよう経済学 小テスト

第10講 45度線分析(1)

次の問いに答えなさい。ただし、【 】内に「計算過程」と書かれている場合は計算過程を記入しなさい。

- 次の文章中の括弧内に入る適切な語句を書きなさい。また、適切な語句を選ぶ場合には、正しい語句に○を書きなさい。
 - 財市場を均衡させるような国民所得を（ 均衡 ）国民所得 Y^* という。
 - 閉鎖経済（海外部門なし）において、 $Y = C + I + G$ を（ 財市場均衡 ）条件という。
 - 財の総供給を Y^S 、総需要を Y^D とすると、 $Y^S > Y^D$ の状況下では、財市場で（ 超過需要 /○超過供給 ）が発生しているので、総供給 Y^S （国民所得 Y ）が（ 増加 /○減少 ）することとなる。
 - 経済学者の（ ケインズ ）は、（ 有効需要 ）の大きさが、国民所得の水準を決定するという（ 有効需要 ）の原理を提唱し、財市場では（ 数量 ）調整により不均衡が調整されるとした。
 - 政府支出 G などの変化が、その数倍の国民所得の変化をもたらすことを（ 乗数 ）効果という。

- 45度線分析において、 $Y = C + I + G$ 、 $C = 0.7Y + 15$ 、 $I = 25$ 、 $G = 20$ であるとき、次の問いに答えなさい。

- (1) 均衡国民所得 Y^* の値を求めなさい。

【計算過程】

$$Y = 0.7Y + 15 + 25 + 20 \rightarrow 0.3Y = 60 \rightarrow Y^* = 200$$

$$Y^* = \underline{200}$$

- (2) G のみが3だけ増加した場合、均衡国民所得 Y^* の値はどれだけ増加するか求めなさい。

【計算過程】

$$Y = 0.7Y + 15 + 25 + 23 \rightarrow 0.3Y = 63 \rightarrow Y^* = 210$$

$$\text{よって、} 210 - 200 = 10$$

$$\Delta Y = \underline{10}$$

- (3) I のみが6だけ増加した場合、均衡国民所得 Y^* の値はどれだけ増加するか求めなさい。

【計算過程】

$$Y = 0.7Y + 15 + 31 + 20 \rightarrow 0.3Y = 66 \rightarrow Y^* = 220$$

$$\text{よって、} 220 - 200 = 20$$

$$\Delta Y = \underline{20}$$